

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和02年度（2020年度）		授業科目	リベラルアーツ特論1（健康科学）	
科目基礎情報							
科目番号	4M11			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	材料システム工学科(2017年度以降入学生、但し、令和4年度は材料工学科を含む)			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	赤塚 康介						
到達目標							
1. 測定データをもとに自身の能力を評価できる 2. 自身の体力を改善するためのトレーニング方法を考えることができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	測定データをもとに自身の能力を適切に評価できる			測定データをもとに自身の能力をある程度評価できる		測定データをもとに自身の能力を評価できない	
評価項目2	自身の体力を改善するためのトレーニング方法を適切に考えることができる			自身の体力を改善するためのトレーニング方法をある程度考えることができる		自身の体力を改善するためのトレーニング方法を考えることができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1. 自身の運動能力を効率よく向上させるための運動生理学的な知識を学び、合理的なトレーニングを行うことのできる能力を養う 2. 身体的能力を評価するための測定や実習を行い、自身の体力について評価できる能力を養う						
授業の進め方・方法	身体的能力を評価するための各種測定・実技を行い、身体能力を改善するための方法についてレポートにまとめる						
注意点	(1) 点数配分：授業に取り組む態度70％、レポート30％ (2) 評価基準：60点以上を合格とする (3) 再試験：再試験を行う (4) 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業内容等を理解する		
		2週	スポーツと健康		運動が健康に及ぼす影響について理解する		
		3週	身体組成の測定		身体組成の測定方法について理解する		
		4週	トレーニング理論		効率的にトレーニングを行うための理論を理解する		
		5週	筋力トレーニング（1）		MAX測定の方法について理解する		
		6週	筋力トレーニング（2）		筋肥大トレーニングについて理解する		
		7週	筋力トレーニング（3）		筋持久力トレーニングについて理解する		
		8週	筋力トレーニング（4）		筋力トレーニングの効果と注意点についてまとめる		
	2ndQ	9週	持久力評価（1）		最大酸素摂取量の測定方法について理解する		
		10週	持久力評価（2）		最大酸素摂取量をもとにした相対的な運動強度の設定方法について理解する		
		11週	持久力評価（3）		持久力向上のためのトレーニング方法を実践する		
		12週	持久力評価（4）		持久力向上のための方法と効果についてまとめる		
		13週	SAQトレーニング		SAQトレーニングについて理解する		
		14週	レポート作成		各種測定データをまとめレポートを作成する		
		15週	授業のまとめ		授業を通して学んだことを整理する		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	70	0	0	100
基礎的能力	0	30	0	70	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0